

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2021年第24週
(6月14日～6月20日)

- * 2021年6月23日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「コロナ禍で日本人の日常が変わった」、「感染予防対策とワクチン」も掲載しています。

令和3年(2021年)6月24日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2021年24週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	50	54	33	36	1,010	248	7,077
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢					2		4
	腸管出血性大腸菌感染症	8	5	9	9	76	91	709
	腸チフス							
	パラチフス							
四類	E型肝炎	2		5	2	71	6	252
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					9		36
	エキノкокクス症	1				1		14
	黄熱							
	オウム病							3
	オムスク出血熱							
	回帰熱							2
	キャサヌル森林病							
	Q熱			1		1		1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						3	47
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
つつが虫病					2	3	114	
デング熱								
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	7	115
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症				1	1		2
	マラリア	1				1		5
	野兔病							
	ライム病						1	6
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	3	1	1	4	43	43	619
レプトスピラ症					1		2	
ロッキー山紅斑熱								
2021/6/23集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 36件 患者 28件(肺結核 18件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 8件、年齢は5歳未満 1件、20代 2件、30代 5件、40代 2件、50代 3件、60代 4件、70代 6件、80代 9件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 23件、バングラデシュ 1件、中国 1件、不明 11件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 9件 患者 3件、無症状病原体保有者 6件、血清型・毒素型はO6 VT2 1件、O26 VT1 2件、O111 VT1 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 1件、血清型不明VT1・VT2 1件、血清型不明VT1 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は10歳未満 1件、10代 2件、20代 3件、30代 1件、40代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 9件、推定感染経路は経口感染 4件、不明 5件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、年齢は40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はすべて経口感染であった。

ボツリヌス症 1件 病型は食餌性(食中毒)、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

レジオネラ症 4件 病型は肺炎型 4件、年齢は60代 1件、70代 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は水系感染(銭湯) 2件、不明 2件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 病型は腸管 3件、年齢は40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 1件(性別不明)、不明 2件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴不明であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2021年24週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	2	1	5	3	42	5	247
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)				1	26		88
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	6	5	3	90	25	808
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1					2		8
	急性脳炎 *2				1	8	1	148
	クリプトスポリジウム症							2
	クロイツフェルト・ヤコブ病					7	1	75
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1		5	34	14	294
	後天性免疫不全症候群	8	7	8	7	170	7	462
	ジアルジア症		1			6		18
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	1		12	5	104
	侵襲性髄膜炎菌感染症						1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	7		2	59	24	678
	水痘(入院例に限る)	1		1		14	7	125
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	46	49	50	47	999	98	2,955
	播種性クリプトコックス症			1		7	1	63
	破傷風			1		2	2	40
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2		1	4	2	55
百日咳		1			32	7	274	
風しん					1		7	
麻しん							2	
薬剤耐性アシネトバクター感染症							1	

2021/6/23集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3件 病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、クレブシエラ・アエロゲネス 2件、年齢は30代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 3件、90日以内の海外渡航歴無し 3件であった。

急性脳炎 1件 病原体は不明、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5件 血清群はB群 4件、G群 1件、年齢は40代 1件、60代 1件、70代 3件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路はすべて不明であった。

後天性免疫不全症候群 7件 AIDS 2件、無症候キャリア 5件、性別はすべて男性、AIDS患者の年齢は30代 1件、50代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 2件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 5件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 7件(同性間 4件、異性間 1件、性別不明 2件)であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 2件 血清型はすべて記載なし、年齢は30代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は無し 1件、不明 1件であった。

梅毒 47件 患者 40件(早期顕症梅毒Ⅰ期 21件、早期顕症梅毒Ⅱ期 19件)、無症候梅毒 7件、性別は男性 31件、女性 16件、年齢は10代 1件、20代 19件、30代 13件、40代 7件、50代 5件、60代 2件、推定感染地は国内 43件、不明 4件、推定感染経路は性的接触 44件(同性間 7件、異性間 35件、性別不明 2件)、不明 3件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型は不明、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

※ 第22週該当分として〔五類〕アメーバ赤痢 1件の追加報告があった。

※ 第23週該当分として〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件、後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 5件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2021年24週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2021年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		21週	22週	23週	24週		
小児科	RSウイルス感染症	368 1.43	472 1.84	655 2.54	850 3.28	259	264
	咽頭結膜熱	61 0.24	52 0.20	59 0.23	78 0.30		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87 0.34	106 0.41	105 0.41	108 0.42		
	感染性胃腸炎	1,058 4.10	1,126 4.38	1,077 4.17	1,124 4.34		
	水痘	28 0.11	39 0.15	33 0.13	35 0.14		
	手足口病	16 0.06	18 0.07	37 0.14	40 0.15		
	伝染性紅斑	6 0.02	8 0.03	6 0.02	5 0.02		
	突発性発しん	145 0.56	140 0.54	110 0.43	121 0.47		
	ヘルパンギーナ	13 0.05	12 0.05	13 0.05	9 0.03		
	流行性耳下腺炎	10 0.04	15 0.06	9 0.03	20 0.08		
	川崎病 ^{*1}	3 0.01	3 0.01	3 0.01	4 0.02		
	不明発しん症 ^{*1}	9 0.03	14 0.05	13 0.05	4 0.02		
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}					
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	6 0.16	6 0.16	7 0.19	7 0.18		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}					25	25
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎		1 0.04				
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2 0.08			1 0.04		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}			1 0.04			
	インフルエンザ入院						
2021/6/23集計							

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数が、平成15年以来最も高い値となっています。中央区、みなと、江東区、目黒区、池袋、荒川区、江戸川、八王子市保健所管内では定点当たり報告数が5.0以上となっています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2021年24週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	28	1		14							
6～11か月	90	4	1	115		3	1	31	1		1
1歳	263	36	9	203	3	11	2	63	4		
2歳	223	16	9	158	1	6	1	17	1		
3歳	138	9	15	77	2	8		5	1	1	2
4歳	66	3	10	96	6	4	1	2		2	
5歳	28	1	13	70	1	7		3		6	
6歳	7	1	9	49	2	1					
7歳	3	2	9	45	2					3	
8歳	1	1	11	37	8				1	1	
9歳		1	2	41	2					1	1
10～14歳			13	89	8					5	
15～19歳			2	20					1		
20～29歳	3	3	5	110						1	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	850	78	108	1,124	35	40	5	121	9	20	4
先週比	195	19	3	47	2	3	-1	11	-4	11	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月										
6～11か月	1									
1歳	2									
2歳										
3歳				1						
4歳	1									
5歳										
6歳										
7歳										
8歳										
9歳										
10～14歳				1						
15～19歳				1						
20～29歳				1				1		
30～39歳				1						
40～49歳				1						
50～59歳				1						
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	4			7				1		
先週比	-9							1	-1	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2021年24週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	0.33			0.67				0.33			
中央区	6.33			11.33		2.00		1.00		0.33	
みなと	17.17	0.17		1.67				0.17			
新宿区	0.86	0.29	0.71	3.86	0.14	0.43		0.14	0.14	0.14	
文京	2.00	0.25	0.50	2.00	0.25	0.50		1.00			
台東	4.00		0.25	20.50	0.25			0.50		0.25	
墨田区	0.80		0.40	1.20	0.20			1.20			
江東区	5.00	0.33	0.33	6.00	0.44				0.11		
品川区	3.75	0.50	0.13	3.13		0.25		0.13			
目黒区	6.80	0.20		4.40	0.20	0.20		0.20			
大田区	3.85	0.54	0.38	6.92	0.08	0.08		0.54		0.15	
世田谷	3.50	0.38	1.13	2.69	0.13	0.19		0.25		0.06	
渋谷区	1.50			2.50				0.25	0.75		
中野区	1.33			4.00		0.17		0.33			0.17
杉並	1.64		0.09	3.64	0.09	0.09	0.18	0.09			0.09
池袋	5.25	0.50		0.25				0.50			
北区	4.29	0.29	0.29	1.57	0.29			0.57			
荒川区	12.00		1.00	6.75				0.75		0.25	
板橋区	1.50	0.10	0.10	2.80		0.10		0.20	0.10		
練馬区	1.69	0.31	1.23	4.69	0.08			0.46		0.08	
足立	3.00	1.08	0.08	3.54	0.08	0.15	0.08	0.31	0.08		
葛飾区	0.63		0.25	5.75	0.25	0.25		0.75			
江戸川	8.17	0.17	0.75	4.17		0.08		0.67		0.17	0.08
八王子市	5.00	1.00	0.27	7.73	0.18			0.36	0.18	0.09	
町田市	1.50	0.13	1.38	4.88	0.13			0.50			
西多摩	0.13	0.38	0.13	3.00	0.13	0.13		0.50		0.13	
南多摩	4.11	0.22		5.00	0.33		0.11	0.78		0.11	
多摩立川	1.43	0.07	0.29	1.71	0.21			0.29		0.14	
多摩府中	0.79	0.26	0.11	3.58	0.21	0.42		0.84		0.05	
多摩小平	2.00	0.36	1.00	6.57	0.14	0.36	0.07	0.86		0.29	0.07
島しょ											
東京都	3.28	0.30	0.42	4.34	0.14	0.15	0.02	0.47	0.03	0.08	0.02

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区										
みなと										
新宿区										
文京										
台東										
墨田区										
江東区	0.11									
品川区										
目黒区										
大田区										
世田谷				0.50						
渋谷区										
中野区										
杉並	0.18									
池袋										
北区										
荒川区										
板橋区				0.50						
練馬区										
足立										
葛飾区				1.00						
江戸川				0.50						
八王子市				1.00						
町田市				1.00						
西多摩										
南多摩										
多摩立川										
多摩府中	0.05							0.33		
多摩小平										
島しょ										

東京都	0.02			0.18				0.04		
-----	------	--	--	------	--	--	--	------	--	--

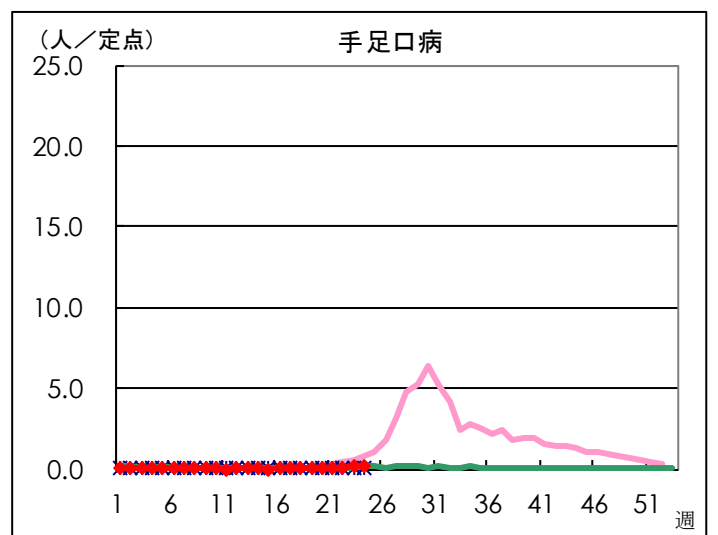
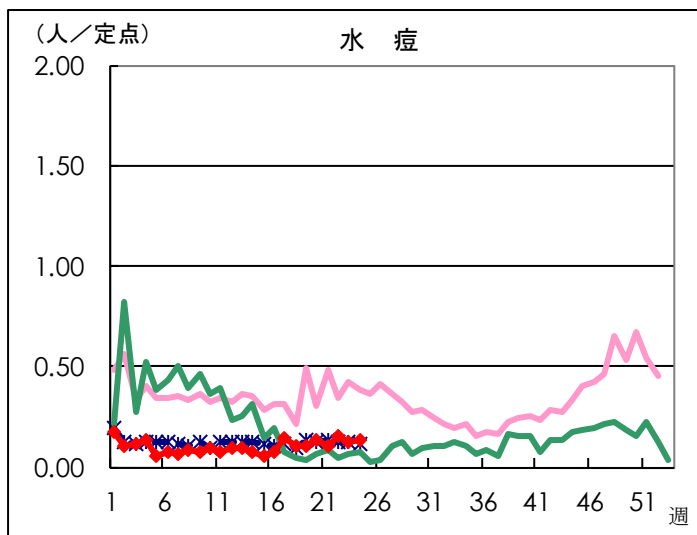
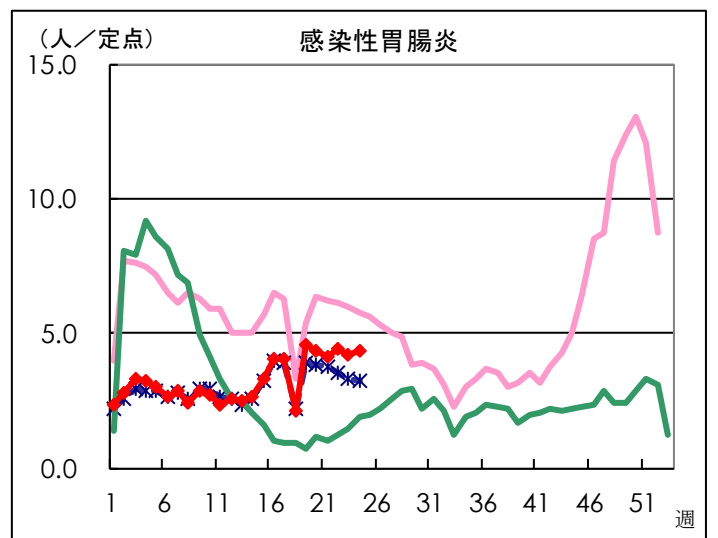
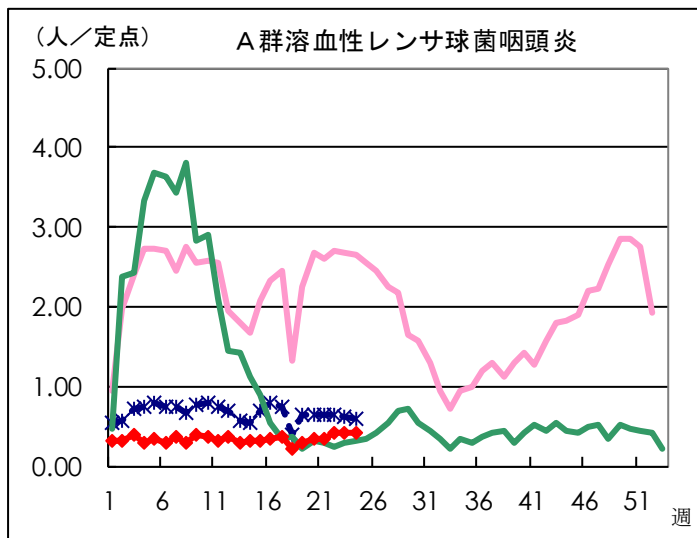
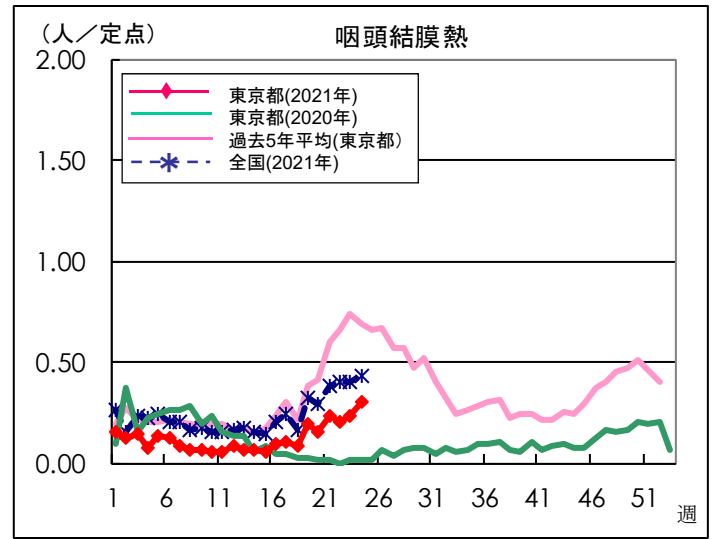
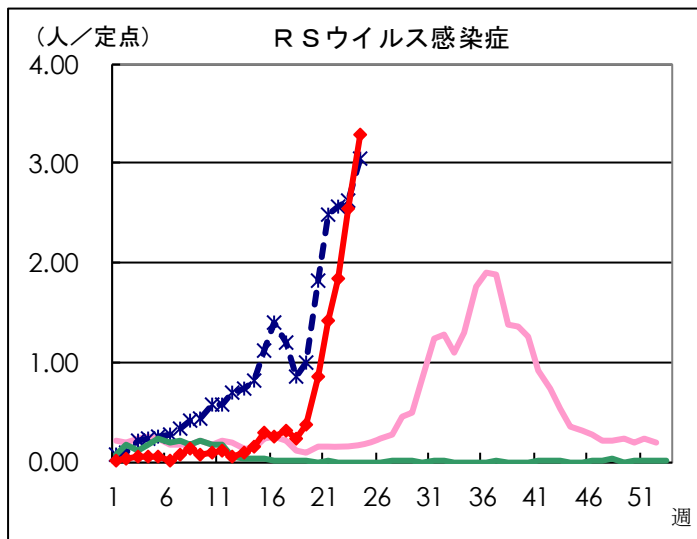
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2021年24週

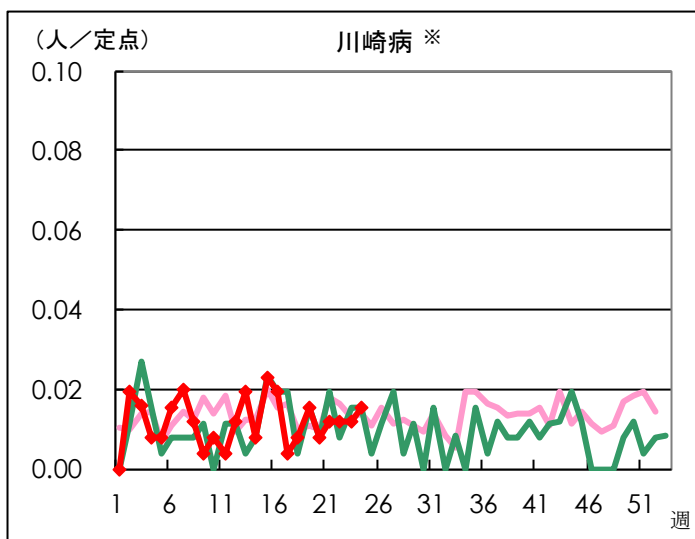
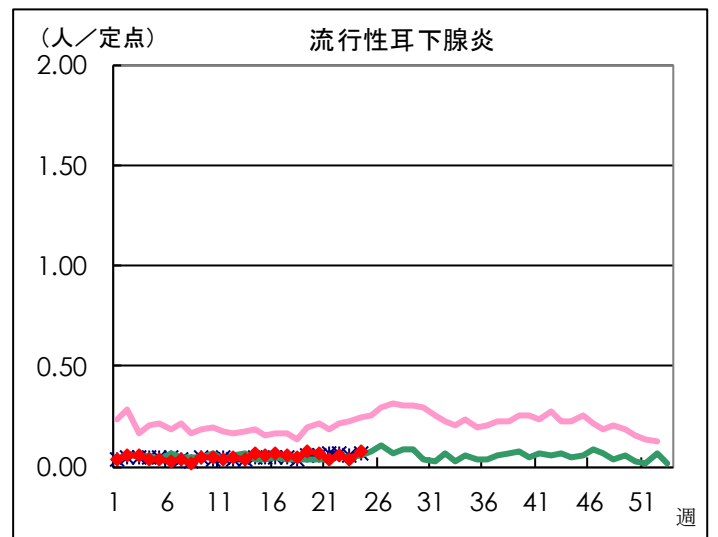
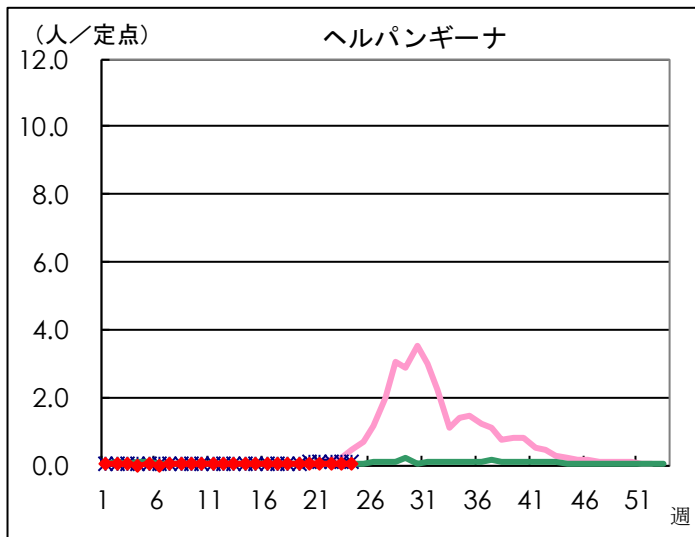
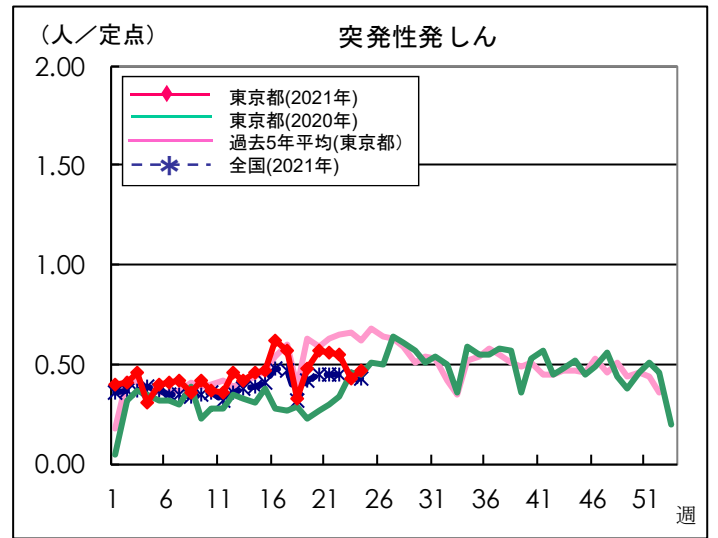
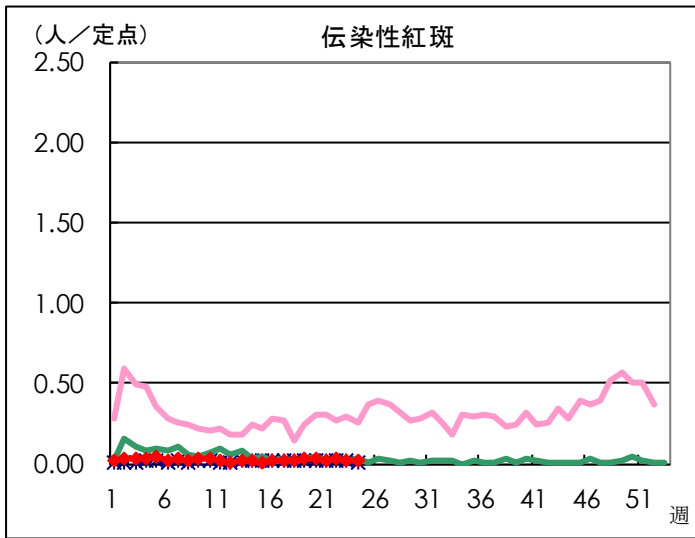
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	1			2				1			
中央区	19			34		6		3		1	
みなと	103	1		10				1			
新宿区	6	2	5	27	1	3		1	1	1	
文京	8	1	2	8	1	2		4			
台東	16		1	82	1			2		1	
墨田区	4		2	6	1			6			
江東区	45	3	3	54	4				1		
品川区	30	4	1	25		2		1			
目黒区	34	1		22	1	1		1			
大田区	50	7	5	90	1	1		7		2	
世田谷	56	6	18	43	2	3		4		1	
渋谷区	6			10				1	3		
中野区	8			24		1		2			1
杉並	18		1	40	1	1	2	1			1
池袋	21	2		1				2			
北区	30	2	2	11	2			4			
荒川区	48		4	27				3		1	
板橋区	15	1	1	28		1		2	1		
練馬区	22	4	16	61	1			6		1	
足立	39	14	1	46	1	2	1	4	1		
葛飾区	5		2	46	2	2		6			
江戸川	98	2	9	50		1		8		2	1
八王子市	55	11	3	85	2			4	2	1	
町田市	12	1	11	39	1			4			
西多摩	1	3	1	24	1	1		4		1	
南多摩	37	2		45	3		1	7		1	
多摩立川	20	1	4	24	3			4		2	
多摩府中	15	5	2	68	4	8		16		1	
多摩小平	28	5	14	92	2	5	1	12		4	1
島しょ											
東京都合計	850	78	108	1,124	35	40	5	121	9	20	4

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田										
中央区										
みなと										
新宿区										
文京										
台東										
墨田区										
江東区	1									
品川区										
目黒区										
大田区										
世田谷				1						
渋谷区										
中野区										
杉並	2									
池袋										
北区										
荒川区										
板橋区				1						
練馬区										
足立										
葛飾区				1						
江戸川				1						
八王子市				2						
町田市				1						
西多摩										
南多摩										
多摩立川										
多摩府中	1							1		
多摩小平										
島しょ										
東京都合計	4			7				1		

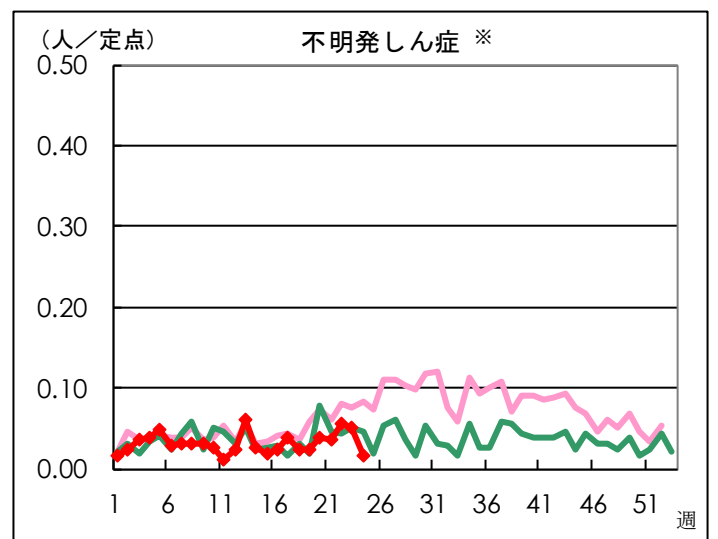
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2021年24週 現在)

◆ 小児科定点



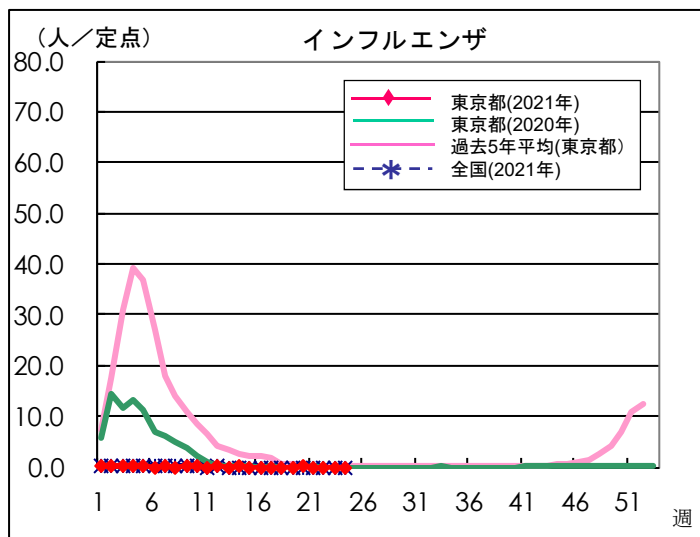


※ 東京都独自対象疾患

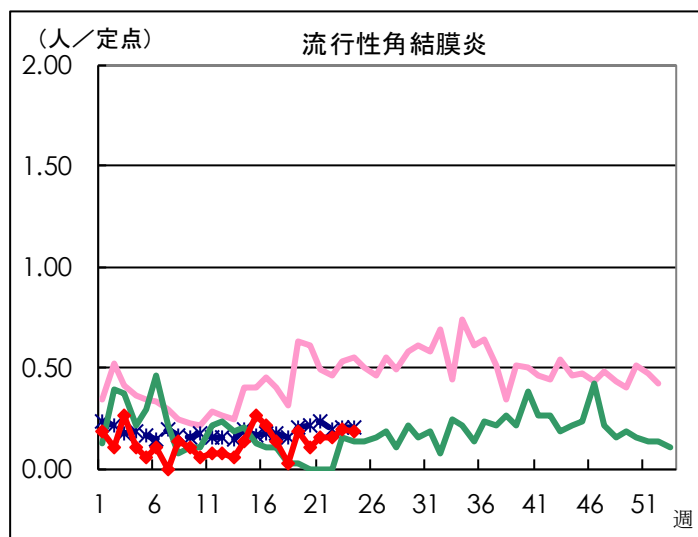
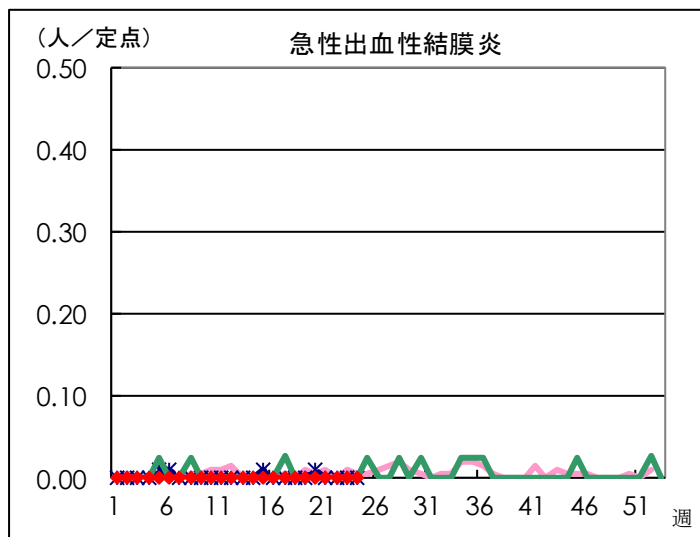


※ 東京都独自対象疾患

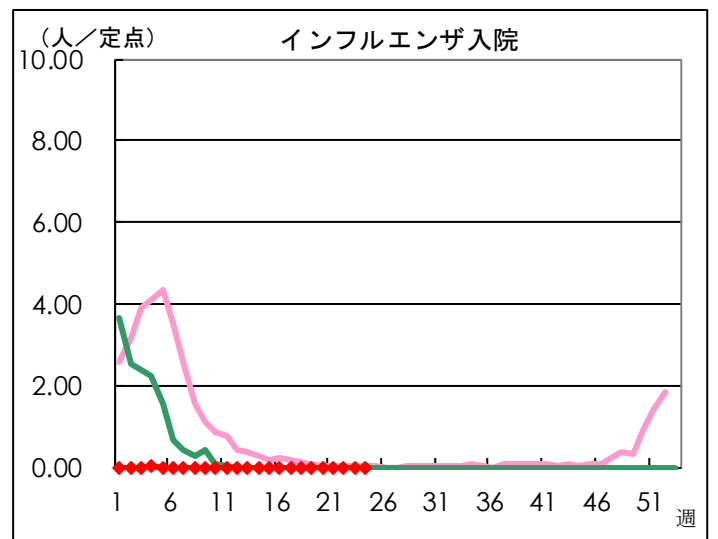
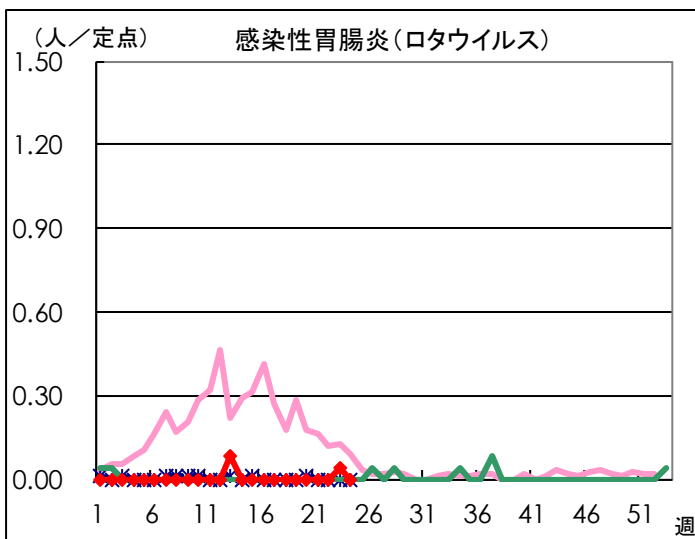
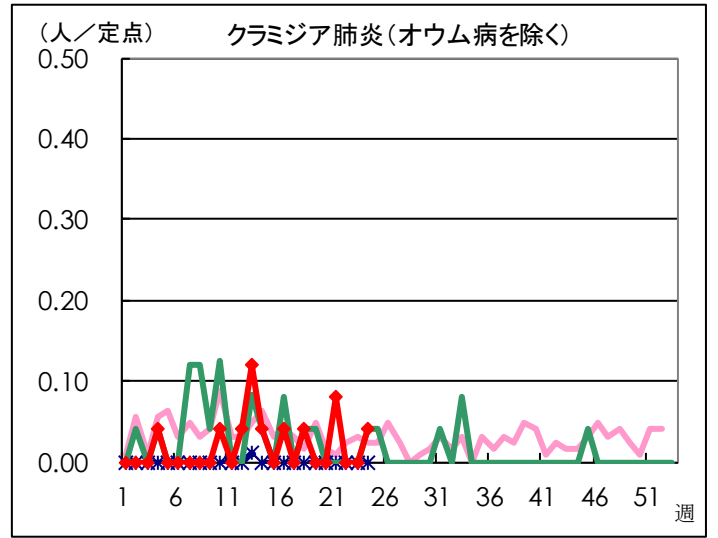
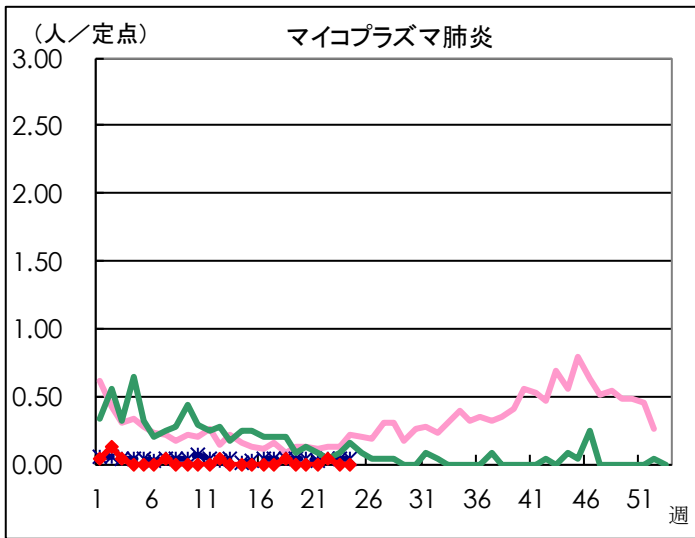
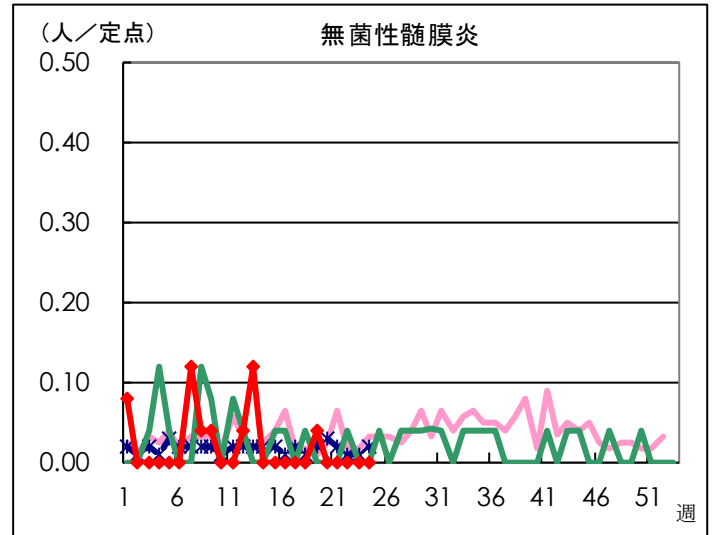
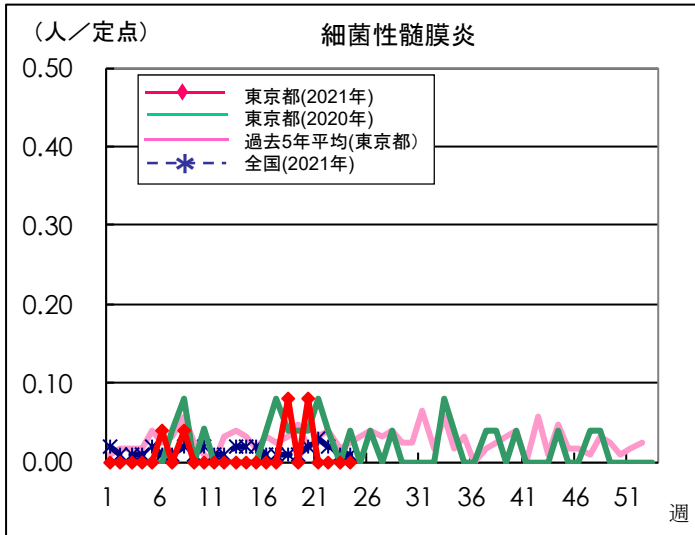
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
4/24	感染性胃腸炎	1	咽頭拭い液	ノロウイルスGⅡ
5/6	感染性胃腸炎	記載なし	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ
5/8	感染性胃腸炎	2	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ
5/26	咽頭結膜熱	10M	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
5/29	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
5/31	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/3	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	RSウイルスB型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

22週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2021年22週				
2020-2021年 シーズン累計*				

* 2020-2021年シーズンの開始は第36週(2020年8月31日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2021年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
アデノウイルス	1	1	1		1		1	1
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス			1	1	2			1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1				1	1	1
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	2	1	2		2	3	1	1
ノロウイルス		1	1		2			
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
インフルエンザウイルスAH3亜型								
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌				1				
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2021年15週～2021年22週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	12	12		12	2	2	1	5		2		3		5		1	1	6		
アデノウイルス		6																		
コクサッキーウイルスA群																				
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス																				
ライノウイルス		1										2	2							
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								4												
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19																				
RSウイルス	12																			
ノロウイルス				4																
ロタウイルス																				
サボウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09																				
インフルエンザウイルスAH3亜型																				
インフルエンザウイルスB型Victoria系統																				
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型																				
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型																				
A群溶血性レンサ球菌T-12型																				
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型																				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																				
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																		1		
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

コロナ禍で日本人の日常が変わった

新型コロナウイルス感染症流行下の自粛が日本人の生活にどのような影響を及ぼしたかをテーマにして厚労科学特別研究事業に取り組む機会を得た。この研究は、第一次緊急事態宣言が発出された2020年の3月下旬から5月下旬を振り返ってという条件つきで、20歳から69歳の日本人男女1万人を対象とした調査を実施した。

自粛生活を余儀なくされた当時、メディアを通じて様々な憶測が流れたことはまだ記憶に新しい。若者たちが「にんしん SOS」に殺到したこと。自粛下にあって恋人間の暴力や家庭内暴力が頻発したこと。果たして真実はどのようなのだろうか。調査結果の一部を紹介したい。

- ① 自粛下にあって、「充実していなかった」が男女ともに6割を超えているが、「充実していた」との回答も男性37.2%、女性38.7%。「充実していた」と回答した男女に共通しているのは、既婚、パートナーの存在、収入増、セックス回数が増えた、男性は「子供がいる」。自粛下でも孤立していなかったというのが「充実」につながったのではないか。
- ② パートナー間の暴力は、自粛下「減った」が26.6%、「増えた」が17.7%で、自粛下では暴力が増えるという仮説を覆す結果となった。
- ③ 自粛下、セックスの回数が「変わらなかった」は39.0%だが、「していない」49.8%、「減った」7.9%、「増えた」3.3%。低下の要因として「外出を控えていた」「その気になれなかった」が7割近くを占めた。2020年の出生率が低下した理由がうなずける。

これらの結果を踏まえて以下政策提言した。

- ① 自粛下でも充実した生活を送れるように、収入を減少させない努力と、人と人との分断させない、孤立させない施策が求められる。
- ② パートナー間の暴力が、「自宅で過ごす時間が増えた」「休日が増えた」などと関係することを考慮すると、在宅勤務を推奨するだけでなく、暴力を回避するための施策を講じる必要がある。

(文責 一般社団法人日本家族計画協会理事長 北村邦夫)

<感染症豆知識>

感染予防対策とワクチン

新型コロナウイルスの最初の報道から約1年半が経過した。この間に少しずつ分かってきたこともあるが、ここでは歴史を振り返りながらワクチン開発について述べてみる。

被害の大きさが際立った「スペインかぜ」の流行は、第一次世界大戦中の1918年3月に始まり約1年のスパンで3回の流行がみられ、世界人口の25～30%が罹患し、死者数は4,000万人(WHO)、わが国では約2,300万人が罹患し、死者数は約38万人とされる(内務省統計)。

病原体が不明で有効な治療法もワクチンもなかった当時は、患者の隔離、接触者の行動制限や個人の衛生管理と集会の禁止・延期、学校を含む公共施設のしばしばの閉鎖など、人と人との接触を減らす対策に頼るしかなかった。効果的な集会自粛の事例として“セントルイスとフィラデルフィアの比較”がよく知られ、早期に強力な集会自粛などを実行したセントルイスでは、患者発生ピークがフィラデルフィアより2カ月ほど遅く、ピーク時の死亡率も4分の1以下にとどまった。原因ウイルスや時代背景は異なるが、これらの対策には感染伝播とそのピークに歯止めをかけることに意味がある。

一方、医療先進国の日本で、なぜ国産ワクチンの開発と実用化が大きく遅れるのかが問われている。過去の予防接種禍による集団訴訟などの影響でワクチン政策に及び腰になった影響もあるが、ワクチン開発は産官学の力を結集して取り組むべき、『国家の危機管理』の一つである。輸入ワクチンに頼っているのは数量確保の負担が重く、早期の集団免疫も獲得できない。

国には有事に対応できるよう、平時からワクチン開発に必要な基礎研究の推進と生産体制の整備や維持管理に、十分で安定的な財政支援を行ってほしい。

(文責 萩原医院 (東京小児科医会) 萩原温久)